



巻頭特集

城下町からリフル倶楽部エリアに情報を発信中!

わがまちの放送局

《United North》

# 愛知北エフエム放送株式会社



地域密着の情報を届けるコミュニティ放送局。  
 犬山市を中心に、扶桑町や大口町など  
 愛知北エリアに放送しているのが  
 愛知北エフエム放送株式会社だ。  
 放送局長、プロデューサーを務めながら  
 ナビゲーターとして出演する2人に  
 番組づくりにかける熱い思いを聞いた。

## まちおこしのため開局 ガラス張りのスタジオ

趣のある古民家の放送局は、全国的に見ても稀であろう。

犬山の城下町に、古民家を改装したスタジオを構える愛知北エフエム放送株式会社。第3セクターやNPO法人が運営するものもあるなか、純民間のコミュニティ放送局だ。

壁一面に書かれたナビゲーターやゲストのサインに圧倒されながら、ガラス張りのスタジオの中へ入らせてもらった。通りへ面するよう配置され、行き交う人の姿がよく見える。予想以上の距離の近さに、驚かされた。

「手を振ってくれたり、スタジオ前からメッセージを送ってくれたり、コミュニケーションを取る機会が多いですね」と、放送局長の武井

いてこそ力を発揮する。方向性を見直すために、一度休止しようと思ったのですと振り返る。

2016年9月20日21時、放送を一時休止。このとき前任に替わり、武井さんが放送局長になった。再開に向けて奔走した武井さん。およそ1カ月後の11月1日に放送再開。翌年の2月には、以前放送業務に携わっていた西原明誠さんが合流した。

## 放送休止を経て復活 多彩な番組がそろう

愛知北エフエム放送から離れていた1年間を、「経験を積むための武者修行だった」と振り返る西原さん。「魅力的な番組を生み出すには、企画・制作から演者の手配、広告主への営業など、さまざまなコストが発生します」とコミュニティ放送局の経営の難しさを指摘する。

愛知北エフエム放送では、これらの課題を解決すべく、思い切った手段に出た。放送枠を、広告代理店に販売したのだ。番組づくりを一括して委託し、魅力的な番組を増やすのが狙いだ。

こうした仕組みづくりが功を奏し、現在内製と合わせて番組数は27。生活から、音楽、ペット、アイドル、声優にいたるまで、多彩なライ

孝国さんは笑みを見せる。

空き店舗の増加で、シャッター街化が進む城下町の発展に寄与しようとして、2006年に開局した。「まちの放送室」という愛称のもと、地域の魅力を発信する番組を中心に放送していたが、7年後に方針を転換。「United North」へ愛称を変更した。インターネットサイマルラジオが普及し、ネットを通じて、全国各地へ配信を届けられるようになっていた当時、犬山にこだわらず、全国で通用するコンテンツを発信しようという意図があった。

この方向性の見直しは、新たなリスナーを獲得する大きなきっかけとなった。同時に、限られた放送エリアに地域の情報を届けるという、コミュニティ放送局の本質から外れる事態も招いてしまう。「コミュニティ放送局は、地域に根づ

ンアップがそろう。内容は個々の代理店が企画しているが、必ず周辺地域の情報を発信するコーナーを設けるよう依頼している。

「それぞれが独自の切り口で犬山の情報を発信しています。ほかのエリアの代理店さんにも協力いただいているので、今まで当たり前だと思っていたまちの魅力に気づききっかけになりました」と武井さん。他社との協力は、まちの宝を発掘すると同時に、地域の魅力を全国に発信するきっかけとなっている。

## 新たな企画を検討中 6月は犬山踊芸祭とコラボ

犬山市周辺のみならず、北は北海道、南は沖縄県まで、全国からメッセージが届くという。印象に残っているものを聞くと、2人は声をそろえてあるカップルのエピソードを教えてくれた。ほかの視聴者に番組の解説をするほど、熱心なファンだという。

ある日、男性から時間指定でリクエストナンバーが届いた。不思議に思いながらも、指定された通りに曲を流すと、数分後今度は女性から投稿が、「読まなくてもいいんですが」と遠慮がちに始まったメッセージには、驚きの言葉が記されていた。

「放送に合わせ彼がギターの弾き語りをした後、プロポーズしたそうなんです。リスナーの2人が一緒になる、そのきっかけをつくったというまたとない経験に、とてもうれしくなったのを覚えています」

表情を緩める西原さんに、武井さんも笑みを見せる。「リスナーさん同士が仲良くなったリ、スタジオに来て声をかけてくれたり。そんなつながりがやがてに結びついていきます」

今後は、特番を生放送した犬山祭に続き、犬山踊芸祭とコラボレーションした企画を検討中だ。ほかにも「行政ともっと関わっていきたい」「犬山を中心に、愛知北エリアを舞台にした企画を練り、全国へ発信していきたい」「ネットでも中継するなど、新しいエンターテインメントの形を模索したい」など夢は膨らむ。

「コミュニティ放送局には、防災ラジオとしての役割もあります。緊急時役に立つためには、まず認知度の向上が必要。色々なニーズに合わせた番組を展開していきます。ぜひ一度視聴ください」と呼びかける。

まずは84.2へ周波数を合わせてみよう。愛知北エフエム放送では今日も、あなたの心に刺さる番組を放送している。



- 1 武井さんは「KICK UP」、西原さんは「SPLASH!!」「Lucky!」のナビゲーターを担当している
- 2 古民家2階にもスタジオが。生放送以外の番組はここで収録している
- 3 清涼飲料メーカー、コカ・コーラ イーストジャパンと提携した「防災ラジオ」。リフル倶楽部エリアには、式番屋 2号館前に設置してある
- 4 4月7日、8日にあった犬山祭では、両日とも7時から22時まで生放送を実施。スタジオ前には人だかりができるほど、にぎわいを見せた



**Information**  
**愛知北エフエム放送株式会社**  
 《United North 84.2MHz》  
 愛知北エフエム放送株式会社の放送はFMラジオのほか、スマートフォン、パソコン、そして生放送時はスタジオ前でも視聴できます  
 犬山市西古券5 Tel.0568-63-0842  
 リクエストメッセージはこちらから！  
<http://842fm.jp/>